

もりのにぎわい通信

2016年1月23日 定例活動報告

.....

日時：2016年1月23日（土）9：00～15：30

場所：小山町 観音地

天候：曇 気温 4～6℃ 湿度 54% 風向 北東 風速 3m

定例会参加者：18人：子供5人、大人13人（小山町・土地改良区6人）

■ 活動

.....

9:00 除草作業開始

10:00 千の苗のクズの蔓きり開始

11:00 休憩

12:00 昼食(豚汁)

13:00 後片付け・昭和の森へ移動

13:30 野鳥観察会(昭和の森)

15:30 片付け

.....

■ 活動報告

2016年（H28年）最初の定例活動です。

今年は世界中が異常気象で、12月下旬に北極の気温がマイナス30度Cから0度Cに上昇、その影響を受けて各地で異常気象が発生。日本も12月、1月は暖冬で冬物衣料が売れていませんでしたが、最近はやく冬将軍が到来、本日は池に氷が張っていました。

土地改良区の皆さんは、昨年松の植樹をした隣の斜面に松100本を植える予定の為、草刈りに取り掛かりました。休憩時には、枯れ枝を燃して暖をとりながらの作業となりました。

昨年から格闘してきた除草作業ですが、冬で草が枯れてきたこともあり、杉エリアを除き無事終了することが出来ました。昨年・一昨年と草刈りが進まず、毎年夏には草やクズが伸び放題となり植林した木々をいじめていましたが、本年は春の作業状況次第ですが、植林した木々のメンテナンス(救出)は出来そうです。

お昼は寒さを吹き飛ばすには一番の豚汁がふるまわれました。おいしい豚汁で本日の作業の疲れも吹き飛びました。

午後からは、昭和の森へ移動して野鳥観察会となりました。

午後1時半に昭和の森の東屋に集合。

日本野鳥の会の坂本さん、自然観察指導員の武田さんを講師に迎え、下夕田池までのコースで野鳥観察を行いました。野鳥観察は一昨年に続き、2回目となります。

本日は午後から雪が降りそうな天候となりましたが、このような冷え込む時こそ野鳥はえさを求め活発に活動するとのこと。野鳥観察も期待出来そうです。

坂本さんが先頭で鳥の鳴く声を聞き、この辺にジョウビタキがいますと我々に伝え、その後2台のスコープと各自持参の双眼鏡で鳥を追跡、その後写真で鳥を説明・観察するものです。我々には聞こえないが、なぜ坂本さんは鳥の声が聞え、鳥の種類もわかるのか？坂本さん曰く、皆さんが電話で誰が

話しているのが分かるように慣れば鳥の声も判別出来るとのこと。さすが鳥のプロと納得！
ジョウビタキ・シロハラ・ツグミ・ミコアイサ・オシドリ・オオバン・アオサギ・カワセミの観察が出来ました。

寒い中でしたが、皆さんご苦労さまでした。

(記録：星野 正人)

■ 森もりあそび隊

今年初の森あそび

夕方から雪になるかもしれないとの予報通り、朝から冷え込んでいて親子の参加は少なかったのですが、午前中は子ども達5人が元気に遊んでいました。まずはパパたちが1000の苗のどんぐりの木のクズとりをしているよこの畑の近くで大きな穴を掘っていました。次はブルーシートのため池の中を観察。秋にはバックスイマーがたくさん泳いでいたのにいないなあ〜と思って浮いている大きな葉っぱを持ち上げたら、たくさんのバックスイマーが飛び出してきてびっくりしていた子ども達。みんなで集まって寒さをしのいでいたのかなあ〜。最後は一輪車に乗って人力車・・生き物は少ない時期でもいろいろ遊べるものです。

昭和の森野鳥観察

寒い中でのおいしい豚汁をたくさん食べておなかと心が満たされた後、昭和の森の第二駐車場近くのあずまやで野鳥観察の先生三人と合流して観察がスタートしました。

まずは、小柄な白い鳥が水路付近にいて長い尻尾を上下に揺らしていました。早速双眼鏡と30倍の望遠鏡で観察。ハクセキレイとのこと。すぐに動いていなくなってしまったので近くにあった看板で30倍の望遠鏡のすごさを確認しましたが、30mにあるものが1m前に見えるのだそうです。肉眼では読めない看板の文字がはっきりと読むことができました。次は鳴き声だけですがアオジという鳥。鳴き声だけで鳥の種類が判断できることにびっくりでした。駐車場で人から遠くにいるからと安心しきっていたツグミを発見。

ここでも30倍の望遠鏡が大活躍。羽の柄からくちばしまで細かく観察できました。林の中を歩いていくとマルバフユイチゴを発見。枯草の中に赤い実をつけて可憐です。少し行くと赤い実をつけたアオキと実をつけていないアオキをみて長年いろんな自然観察会に参加して植物博士のようになった小学一年のMちゃんがみんなに説明してくれました。アオキはオスとメスがあって赤い実はメスだけしかないとのこと。さすがMちゃん。ぱらぱら雪か雨かわからない感じで寒さがましている中、笑いが起きたのは頭上の木にとまっている鳥がなんだろうと望遠鏡でみているとき。先生が“うそかもしれない”と・・みんな“うそ？”と頭は？？

みな笑いが止まらなくなって“うそかもしれない”とみんなで繰り返してしまいました。うそっていう鳥がいるんですね。

池で優雅に泳ぐハクチョウやオオバン、オシドリの仲睦ましい夫婦の姿を見た後、元来た道に戻ります。途中で小さなため池の上の木に青とオレンジの鮮やかな小さな鳥が・・。カワセミでした。さむい時期には見られない鳥なのかと思っていましたが、思いがけず見られてみんなで大騒ぎでした。普段の生活では1,2種類の鳥にしか気づくことができませんでしたが寒い時期でもこんなにたくさんの種類の野鳥を見ることができたことにびっくりでした。つぎ野鳥観察に行くときはピントを合わせるのはとても大変ですがマイ30倍望遠鏡があるといいなあ。

(記録：和田 みさ子)

お知らせホームページもご覧下さい→ <http://www.g-cycle.org/>

次回の定例会は、2月27日（土）予定です。除草作業と松の苗木を植える作業を行いますので、よろしくお祈りします。



観察会終了後、集合写真



池に氷が張っていました。



草刈り開始



暖をとりながらの休憩



クズの蔓切も大変





ちょっと一休み



湯気が立つ豚汁



人力車？



昼食



イノシシの被害調査に猟友会の皆さん訪問



猟友会の皆さんと記念撮影



自然観察会事前説明



ツグミの写真



ハクセキレイ発見



ツグミ発見



いたぞ!



ホウバの説明



ジョウビタキ発見



マルバフユイチゴ



これ、アオキだよ！



カワニナ発見！



下夕田池での観察